

第4回 葛城市景観まちづくりワークショップの結果概要

1. 第4回 景観まちづくりワークショップの開催概要

(1) 開催目的

葛城市では、「景観を大切にすまちづくり」に取り組むため、昨年度より「葛城市景観計画」の策定に向けた準備を進めています。景観を大切にすまちづくりを進めるためには、多くの市民の方々の理解と協力を得ながら、良好な景観を守り、作っていくための取組みが望まれます。

最後となる第4回目のワークショップでは、これまでのワークショップにご参加いただいた皆様のご意見をもとに作成した重点景観形成区域と景観形成基準の案のご報告をするともに、今後継続的に「景観を大切にすまちづくり」に取り組んでいくために必要な取組みや、次の対象となる重点景観形成区域について話し合っていました。

(2) 開催状況

開催案内は、市の広報やホームページに掲載するとともに、市内放送等で開催を周知し、19人に参加していただきました。

●開催状況

開催日時	場所	参加人数
令和元年12月14日(土)	當麻文化会館	19人

(3) 開催内容

これまでのワークショップで話し合ってきた作成した「二上・葛城山地の景観ルール(案)」についての報告の後、3グループに分かれて「景観を次世代に伝えていくために必要な取組」や「次の対象となる「重点景観形成区域」」について意見交換を行いました。

1) 開会のあいさつ



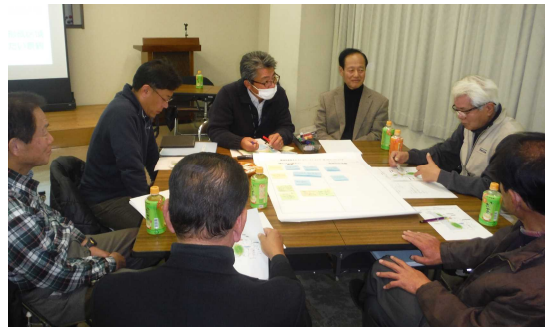
2) 景観ルールや取組みなど

- 景観を保全するために大切なことについて
- 重点景観形成区域と景観形成基準について



3)意見交換

- 景観を次世代に伝えていくために必要な取組み
- 次の対象となる重点景観形成区域



4)全体発表(グループ代表者)



5)閉会のあいさつ

- 有識者より総括コメント



2. ワークショップの意見とりまとめ

(1) 景観を次世代に伝えていくために必要な取組み

- ・残していきたい要素として、おいしい空気やホッとする空間など山の魅力を残していきたいという意見とともに、ナラ枯れの対応が必要という意見もみられました。
- ・景観を次世代に伝えていくために必要な取組みや活動として、ワークショップや勉強会を定期的
に開催し、グループで話し合う機会を設けるという意見が多くあげられました。また、子どもや女性
限定のワークショップの開催など、様々な方が参加しやすい環境づくりなどもあげられました。
- ・その他の意見として、景観づくりのメリット・デメリットを考え、地域の魅力のアピール力を向上させ
るなどがあげられました。

■ 残していきたい要素

残していきたい景観	<ul style="list-style-type: none"> ・おいしい空気やホッとする空間 ・田園風景と山の風景との景観 	など
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ナラ枯れの対応が必要 ・残したい景観がイメージしにくい 	など

■ 取組みや活動

住民の意識向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップや勉強会の定期的な開催 ・景観について共通認識を持っていく ・葛城八景の作成 	■ 残したい景観を イメージ化
ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ拾い 	

(2) 次の対象となる重点景観形成区域

- ・次の重点景観形成区域にすべきエリアとして、「竹内街道周辺地区」という意見が最も多くあげ
られたため、主に「竹内街道周辺地区」について話し合っていました。

1) 「竹内街道周辺地区」についての改善点

- ・改善点として、統一感のある街並みや無電柱化を考えるという景観に関する意見が多くあげられ
ました。また、雑木やゴミの撤去、水路の改善など、整備に関する意見もあげられました。

■ 「竹内街道周辺地区」の改善点

景観・整備	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の連続性や外観の統一感を考える ・落ち着いた街並みや統一した街並みのイメージ ・電柱が支障であるため、無電柱化 ・雑木やゴミの撤去 	など
--------------	---	----

2) 「竹内街道周辺地区」の残していきたい景観

- ・残していきたい景観として、まちの雰囲気最も多くあげられ、田園風景や山並み風景などの景
観を守っていききたいとする意見が多くみられました。
- ・その他の意見として、歴史的な景観を道標などで残していきたいという意見や、重点区域だけ
でなく、その間の区域も大事に連続して考える必要があるという意見あげられました。

■「竹内街道周辺地区」の残したい景観

景観	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雰囲気 ・ 統一感のある街道 ・ 屋根の形など建物の外観を守りたい ・ 田園風景と大和三山・二上山のマッチ 	など
歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・ 司馬遼太郎の生家 	など

・その他にあげられた「重点景観形成エリア」や「視点場」についての主な意見は以下のとおりです。

■「重点景観形成エリア」ごとの改善点と視点場

「重点景観形成エリア」共通

- ・ 重点区域だけでなく間の区域も大事。連続して山麓線を考える必要がある
- ・ 見直しの視点をもって更新していく
- ・ 地域のブランド化
- ・ 地域にお金をおとせる仕組みづくり
- ・ 伝統ある構法ができる大工／職人
- ・ まち作りのためのルールづくり
- ・ 市民・自治体と連携し、市民全体で考える

當麻寺
《景観》

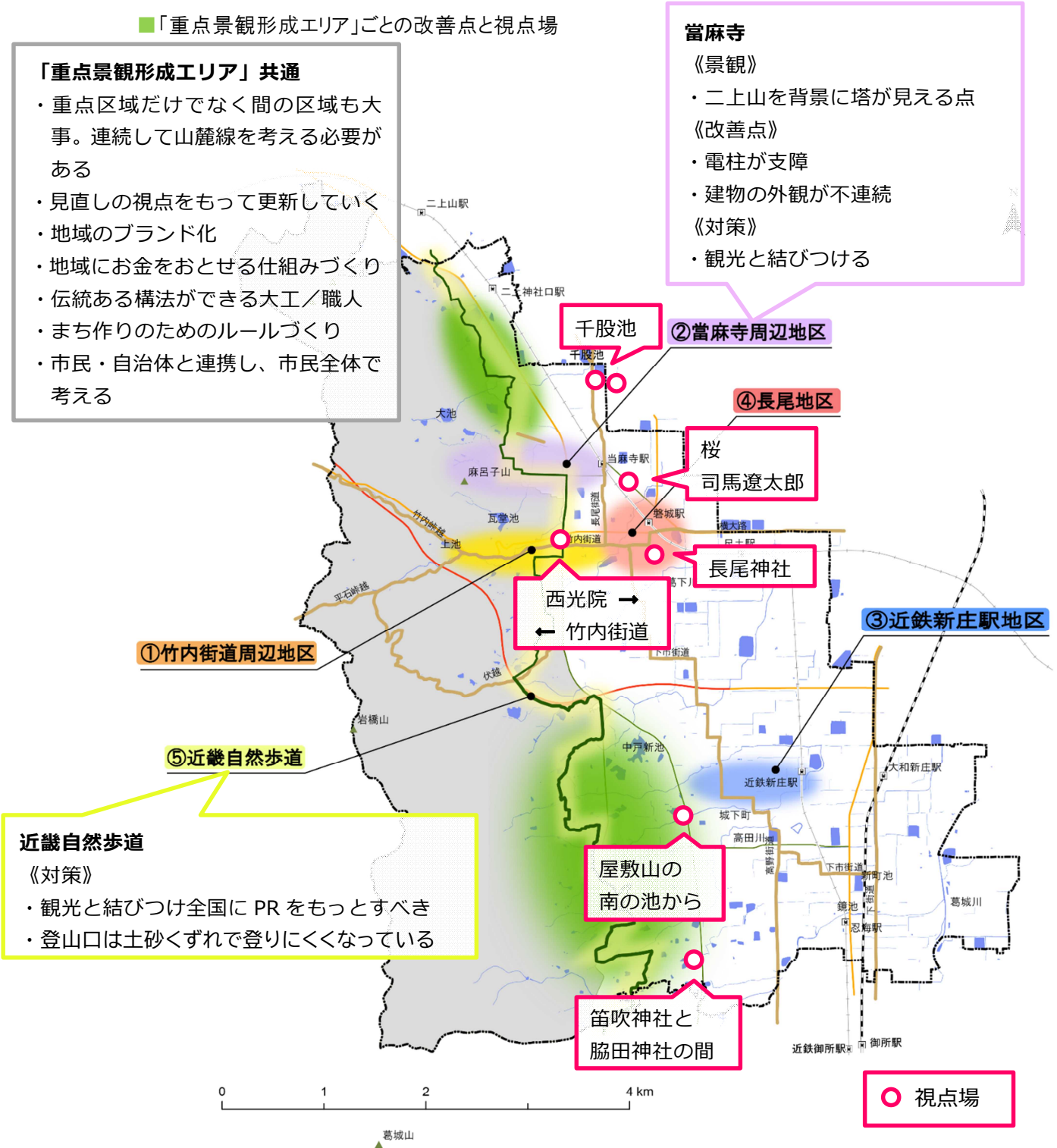
- ・ 二上山を背景に塔が見える点

《改善点》

- ・ 電柱が支障
- ・ 建物の外観が不連続

《対策》

- ・ 観光と結びつける



近畿自然歩道
《対策》

- ・ 観光と結びつけ全国にPRをもっとすべき
- ・ 登山口は土砂くずれで登りにくくなっている